

田沼意次侯ゆかりの地・牧之原市に 道の駅「そらっと牧之原」がオープン！

静岡

静岡県の中西部に位置する牧之原市。駿河湾に面し、北には日本一大茶園・牧之原台地が広がる風光明媚なまちです。市内には富士山静岡空港や東名高速道路・相良牧之原IC、重要港湾・御前崎港があり、国道も南北に整備されるなど、陸・海・空の交通アクセスに恵まれています。

そんな牧之原市は、江戸時代中期の老中・田沼意

次侯ゆかりの地としても知られています。意次侯は、宝暦8年(1758年)から約30年間にわたり、遠州相良藩主として城下町を整備し、産業振興に尽力しました。その功績は現在の牧之原市の礎となっており、市内には平田寺や般若寺、大澤寺など、ゆかりの史跡や文化財が数多く残されています。

「田沼意次の新時代展」と

「大河ドラマ『べらぼう〜蔦重栄華乃夢噺〜』展・静岡まきのはら」を開催中

こうしたご縁から、牧之原市では全国初となる意次侯の生涯を描いた漫画の制作や銅像の建立など、その功績を称える活動を積極的に行ってきました。さらに、現在放送中の大河ドラマ「べらぼう〜蔦重栄華乃夢噺〜」では、渡辺謙さん演じる意次侯が主要人物として登場。これに合わせて、牧之原市史料館では特別展を開催するなど、地域を挙げて盛り上がりを見せています。かつては賄賂政治家といったイメージで語られがちだった意次侯ですが、近年では、その先見性や経済手腕から、開明的で先進的な政治家として再評価が進んでいます。



開催会場	牧之原市史料館
開催期間	令和7年1月26日(日)～令和8年1月12日(月・祝)
営業時間	午前9時～午後4時(月曜及び年末年始はお休み)
入場料	無料(1階史料館のみ有料)

新名所 道の駅「そらっと牧之原」も誕生

またこの7月には、市北東部の坂部地区に新しい道の駅「そらっと牧之原」がオープンしました。「坂部がつながる空と陸 食と自然で幸せ感じる 道の駅」をコンセプトに、茶畑の畝をイメージした美しい流線形の建物が目を引きま。館内には産地直売所や飲食店、休憩施設が揃い、イベントスペースの「茶畑テラス」からは、牧之原らしい雄大な茶園風景を一望できます。

「そらっと牧之原」は、すべての世代が楽しめる賑わいの拠点として、また、富士山静岡空港や近隣市町から人々を迎え入れる玄関口として、地域の交流人口拡大への貢献が期待されています。



富士山静岡空港のお膝元、坂部地区に今年7月にオープンした新しい道の駅「そらっと牧之原」